

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年 4月21日
【会社名】	ブラザー工業株式会社
【英訳名】	BROTHER INDUSTRIES, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小池 利和
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
【電話番号】	052-824-2102
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部担当 藤井 宗高
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
【電話番号】	052-824-2102
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部担当 藤井 宗高
【縦覧に供する場所】	ブラザー工業株式会社 東京支社 (東京都中央区京橋三丁目3番8号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1【提出理由】

当社は、平成27年3月11日に、ロンドン証券取引所に上場している英国の産業用プリンティング企業であるDomino Printing Sciences plc（本社：英国ケンブリッジ、CEO：Nigel Bond、以下「Domino社」という。）と、Domino社の発行済及び発行予定普通株式のすべてを現金にて取得し、完全子会社化（以下「本件」という。）する手続きを開始することに合意いたしました。これに伴い、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

なお、本件は、英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメントにより実施される予定です。平成27年4月15日にDomino社の株主集会において本件に係るスキーム・オブ・アレンジメントの承認決議を経ており、今後、競争法当局の承認が取得されることなどを条件に、Domino社は当社の完全子会社となる予定です。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の概要

商号 : Domino Printing Sciences plc
 本店の所在地 : Trafalgar Way, Bar Hill, Cambridge, the UK
 代表者の氏名 : Nigel Bond, Chief Executive Officer
 資本金の額 : 5,627千ポンド（2014年10月31日）
 純資産の額 : 212,231千ポンド（2014年10月31日）
 総資産の額 : 302,010千ポンド（2014年10月31日）
 事業の内容 : 産業用プリンティング機器の開発、製造、販売及び付随するシステムの開発、販売

取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益及び純利益

決算期	2012年10月期	2013年10月期	2014年10月期
売上高	312,062千ポンド	335,673千ポンド	350,181千ポンド
営業利益	51,035千ポンド	17,383千ポンド	56,034千ポンド
当期純利益	40,692千ポンド	5,822千ポンド	44,615千ポンド

(注) 取得対象子会社は、国際財務報告基準（IFRS）に基づいて連結財務諸表を作成しているため、経常利益は算出しておりません。

取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	記載すべき資本関係はありません。
人的関係	記載すべき人的関係はありません。
取引関係	記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

産業用プリンティング領域での強固な事業基盤

当社のプリンティング関連事業は、SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）等のオフィスや家庭向けのプリンター・複合機の事業展開が主体です。パソコン上で作成したイメージを衣類に印刷するガーメントプリンターのような産業用の展開もありますが、一部にとどまっています。今般、当社が、Domino社を買収することによって、コーディング・マーキング分野および商品パッケージへのデジタル印刷分野という、産業用プリンティング領域の中でも成長が見込まれる分野での事業基盤を獲得することができます。

コーディング・マーキングは顧客企業との間の長期間の信頼関係に基づく安定した事業であり、Domino社はその製品、システム構築力、サービスの品質の高さで同業界の中でも有数の地位を確立することに成功しています。また、近年は食品などの安全性の確保や、医薬品、たばこの偽造の防止など、商品のトレーサビリティに対する関心が高まっており、コーディング・マーキングが更に活用されていくことが予想されています。新興国の経済成長に伴うコーディング・マーキングへの需要の高まりも期待され、安定した収益、安定した成長が見込める事業です。また、現時点では具体化された計画はないものの、当社が長年培ってきた、インクジェット、サーマル・トランスファー、レーザーといった様々な印字の技術とそれらを用いた製品群が、Domino社の商品ラインアップの強化・拡充、マーケットシェアの拡大に貢献できるものと考えております。

商品パッケージへのデジタル印刷分野は、産業用プリンティング市場の中で、最も高い成長性が見込まれる市場です。最終消費者への商品の訴求力を高めるために、商品パッケージの重要性は増していますが、とくに顧客のニーズに応えた、多種少量の商品パッケージへのデジタル印刷は大きく伸びています。Domino社はデジタル印刷分野を成長分野ととらえ、これまで積極的に投資を行い、事業基盤を拡大してきました。

当社は、Domino社が構築してきた事業基盤を尊重しつつ、その更なる成長に向けて様々な支援を行っていきます。

デジタル印刷における成長の加速

デジタル印刷分野は非常に高い成長が期待されており、そのなかでも、商品パッケージ印刷は有望な市場です。また、有望な市場であるがゆえに、迅速な投資と事業基盤の拡充、差別化された製品とサービスの提供が今後の市場成長をとらえる重要な要素であると考えます。

当社は、Domino社と一体となって商品パッケージのデジタル印刷に積極的に投資し、グローバル展開の加速、より高い成長の実現を目指します。本件を通じて、当社はこの有望な市場にいち早く参加することができるのと同時に、長年培ったインクジェット技術を含めた当社の経営資源をこの分野で活用することができます。このようにして、Domino社の強みと、当社の強みを活かした事業展開を目指します。

当社のグローバルネットワークとDomino社の相乗効果

当社がこれまでに構築してきたグローバルな開発・製造・販売体制を活用することで、Domino社のグローバルなビジネス展開を加速させることが期待できます。また、当社のグローバルなネットワークで培われた生産ノウハウを用いて、生産効率の改善、納期短縮や顧客満足度の向上、さらにはコストダウンにつなげていく取組みを進めてまいります。両社のベストプラクティスを持ち寄り、力を合わせることで、新たな価値の提供を目指していきます。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式取得総額は、約10.3億ポンド（約1,890億円）を予定しております。子会社取得に係る諸経費等は、未定であります。判明後、臨時報告書の訂正報告書を提出いたします。

以 上